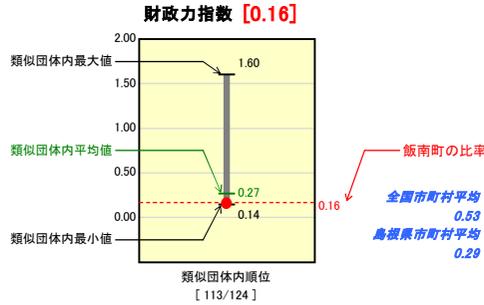


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

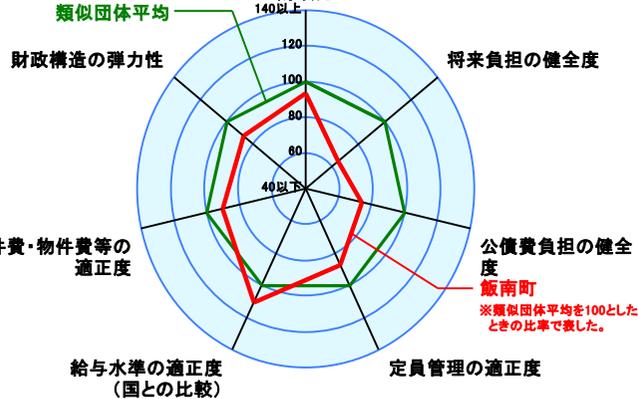
## 島根県 飯南町

人口	5,984	人(H19.3.31現在)
面積	242.84	km <sup>2</sup>
歳入総額	8,214,457	千円
歳出総額	8,086,712	千円
歳出総額	90,201	千円

### 財政力



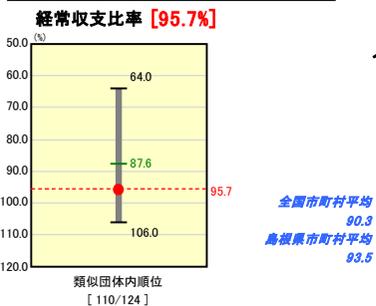
### 財政構造の弾力性



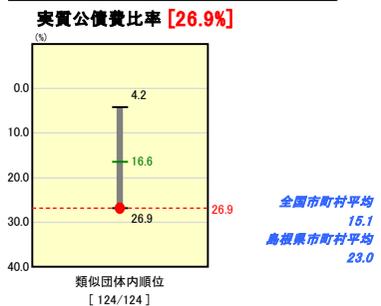
### 将来負担の健全度



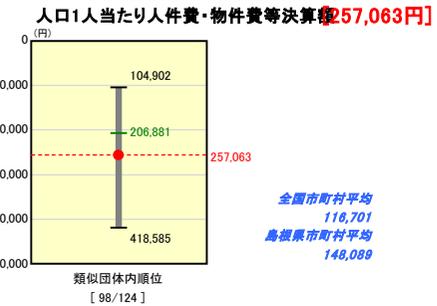
### 財政構造の弾力性



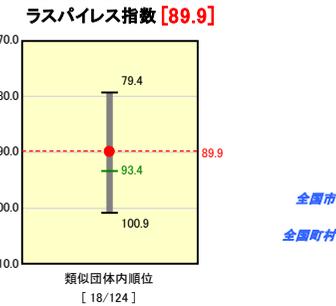
### 公債費負担の健全度



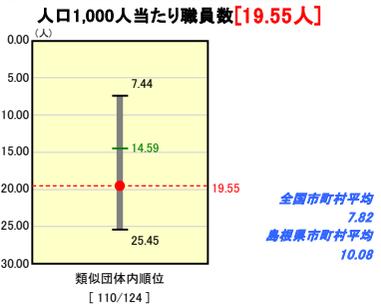
### 人件費・物件費等の適正度



### 給与水準の適正度 (国との比)



### 定員管理の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数 人口の減少や全国平均を上回る高齢化比率(H18末38.1%)に加え、町内に基幹となる産業がないことなどにより、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っています。このため、退職者不補充等による職員数の削減(5年間で12.6%減)や飯南町行政改革大綱に従った経費の節減と総合振興計画に沿った施策の重点化に努め、活力あるまちづくりを進めつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図ります。

○経常収支比率 扶助費や公債費の増加により95.7%と類似団体平均を上回っています。起債の借入額の適正化や繰上償還の実施、H18年度から実施している職員給与カット(3~10%)による人件費の削減、物件費・補助費等の徹底した削減を行うことにより、H21決算において90%以下を目標に改善に努めます。

○ラスパイレス指数 給与体系の見直しを行い、類似団体平均は下回っていますが、今後も地域の民間給与の状況を見まえ、給与の適正化に努めます。

○実質公債費比率 普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体内や鳥根県内で最も高くなっています。今後飯南町行政改革大綱や公債費負担適正化計画により、新規発行額の抑制(普通建設事業の財源としては、標準財政規模の20%以内)や繰上償還を行うことにより、平成20年度の実質公債費比率を23.0%以内を目標に改善を図ります。

○人口1人あたりの地方債現在高 道路整備や各種公共施設の整備の実施により、類似団体内で最も高くなっています。今後は飯南町行政改革大綱や公債費負担適正化計画の着実な実施、新規発行額の抑制や繰上償還の実施により、平成21年度末には、現在の80%を目標に削減を図る。

○1000人当たり職員数 平成17年1月に合併を行ったことにより類似団体と比較し、人口あたりの職員数が多くなっています。今後は飯南町行政改革大綱の着実な実施により、H21までに目標数値である12.6%の職員数の削減と内部組織の見直しを行い、事務管理の効率化、住民に対する公務サービスの向上に努めます。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額 人件費、物件費及び維持補修費の合計金額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っています。主な要因は人件費となっています。合併により職員数が類似団体に比べ多く、今後は適正な人員になるよう削減に努めます。また、物件費については、旅費の見直しや指定管理者制度などによる委託化を進め、コスト削減に努めます。